

劇団 en 塾 歓迎夕食会が開催されました【平成 29 年 4 月 3 日（月）】

平成 29 年 4 月 3 日（月），愛媛大学城北キャンパス大学会館 1 階にて，日本語ミュージカル上演のために来日したインドネシア人大学生 50 名からなる「劇団 en 塾」の歓迎夕食会が開催されました。

開会にあたり，愛媛・インドネシア友好協会の大橋裕一会長（愛媛大学長）より，挨拶がありました。続いて，愛媛県の上甲俊史副知事，松山市の野志克仁市長から，劇団 en 塾に向けての歓迎メッセージと翌々日に控えた愛媛公演成功に向けてのエールが送られました。また，これまでジャカルタで劇団の活動を支援し続けてこられた，インドネシア愛媛県人会会長の黒田憲一様より，乾杯のご発声をいただくと，会場内も一気に和やかな雰囲気になり，参加者らは，テーブルに並べられた郷土料理などを囲んで会話を弾ませていました。

夕食会後半，当日の交流プログラムにおいて，劇団 en 塾と愛媛大学教育学部楽友会メンバーらが練習を重ねた楽曲の披露が始まると，会場全体が釘付けとなり，国境を越えた美しいハーモニーに大きな感動の渦が巻き起こりました。最後には，観客も飛び入り参加し，en 塾オリジナル曲「ダンシング・インドネシア」を踊り，会場は最高の盛り上がりを見せました。

本夕食会には，弊協会の会員様のほか，劇団 en 塾愛媛公演の協賛・賛助にご協力くださった皆さま，愛媛大学のインドネシア人留学生など，約 130 人が参加し，盛会となりました。愛媛・インドネシア友好協会は，本夕食会の後援を行いました。



▲大橋会長のご挨拶



▲上甲副知事からの祝辞



▲野志市長からの祝辞



▲インドネシア愛媛県人会 黒田会長のご挨拶



▲賑わう会場の様子



▲コラボパフォーマンス披露



▲集合写真

「インドネシア経済セミナー in 愛媛」を開催しました【平成 29 年 6 月 30 日(金)】

平成 29 年 6 月 30 日 (金)、インドネシア経済セミナーを、愛媛大学ミュージズ 3 階会議室において開催しました。セミナーには、県内企業関係者や、インドネシアに関心のある方、学生など定員を大きく上回る 67 人の参加がありました。

初めに、本協会の大上博基理事（愛媛大学学長特別補佐）が「協会の設立から 9 年がたち、インドネシアと愛媛との交流は着実に太く強固なものに発展しており、本セミナーを交流のさらなる深化の一助としたい」と挨拶しました。次に、在スラバヤ日本国総領事館の谷昌紀総領事がインドネシア経済の近況と東ジャワ州の概況について講演しました。谷総領事は、在インドネシアの日本大使館や総領事館の強みは地元の情報を持っていることであり、ぜひ気軽に相談してほしいと述べました。続いて、ジェトロ（(独)日本貿易振興機構）愛媛の鈴木隆之所長がジェトロの海外ビジネス展開支援事業について講演し、ジェトロ・ジャカルタ事務所にはジェトロ愛媛出身者が 2 人おり、インドネシア進出の際には気軽にジェトロのサービスを利用してほしいと述べました。

その後、休憩を挟んで、PT. Santomo Resources Indonesia の山口智市社長が登壇しました。山口社長は、インドネシアでビジネスを展開するうえで注意すべき点について、独特の文書主義や横並び主義など、現地で合弁企業を運営する実体験を交えながら講演しました。続いて、愛媛銀行営業統括部東アジア業務推進室の森信之副調査役が講演し、ジャカルタにある国際機関、東アジア・ASEAN 経済研究センター（ERIA）に今年 3 月まで出向していた際の調査成果に基づき、ASEAN のインフラについて説明しました。続いて、愛媛大学国際連携推進機構の遅澤克也教授が、愛媛とインドネシアの地方（マカッサル）をつなぐ産学地連携について講演しました。最後に、JICA（(独)国際協力機構）四国・中小企業海外展開支援アドバイザーの山内桂氏が、海外進出における JICA による支援事業について、バリ島での事例を交えて紹介しました。

参加者からは、インドネシアでビジネスを行う際の宗教への配慮についてや、ASEAN でのインフラ開発の将来展望などについて、質問がありました。セミナー後も、講演者と参加者の間で活発な意見交換や名刺交換が行われ、愛媛でもインドネシアへのビジネス展開に関心を持つ人や企業が増えていることを窺わせました。



▲講演する谷総領事



▲参加者で満員となった会場

※本セミナーの記事が愛媛新聞（7/1 日刊）に掲載されました。

「造船分野におけるインドネシア投資環境セミナー」を開催しました【平成29年8月1日（火）】

平成29年8月1日（火）、在大阪インドネシア共和国総領事館、愛媛県、ジェトロ愛媛と共同開催、今治市の後援で「造船分野におけるインドネシア投資環境セミナー」を開催しました。会場には、県内の造船・金融企業関係者、インドネシアの政府関係者および造船・海事産業関係者等、70人以上が集まりました。

初めに、開催の提案者である在大阪インドネシア共和国総領事館のウィスヌ エディ プラティグニョ総領事より「島嶼国家であるインドネシアは現在、現大統領の就任に伴い、政府として海運整備事業に力を入れている。しかし、国内外の民間企業の協力が必要な状況にある。総領事館としては、日本企業のインドネシア進出・ビジネス展開を推し進めたいと考えている」との挨拶がありました。



▲在大阪インドネシア共和国総領事館
ウィスヌ総領事による主催者挨拶

講演ではまず初めに、インドネシア工業省金属・機械・輸送・電子局 イグスティプトゥ スルヤウィラワン局長から、工業省は政府から海洋インフラ・海洋資源・海洋安全の充実を任されており、ジャワ島以外の地方の発展を目的に造船工業団地の建設を進めており、日本企業には是非そこへ進出してほしいと要望が述べられました。また政府が造船業界への投資誘致を目的に、財政・税制優遇措置を設けている等の説明がありました。

続いて、インドネシア造船協会のエディ クルニアワン ロガム会頭から、今後の船舶の増加に伴い、修理・部品産業も重要分野になると考えており、日本の自動車メーカー等のメンテナンスも視野に入れた製造技術等、日本の先駆的ノウハウを導入したいと考えており、そのために、協会としては日本企業を現地視察に無料で招待する等、進出を全面的に支援する準備があると説明がありました。

次に、インドネシア造船部品裾野産業協会のエキ コマルッディン会長からは、船舶部品産業におけるビジネス展開について話があり、現在、海外からの輸入に頼っている部分はかなり大きいですが、コスト削減の観点から中国製部品の輸入が多い。ただしより高品質の部品を求める声も多く、日本企業進出の可能性は大きいと考えていること、また、技術・人材教育分野においても日本企業の進出を望んでいるとの話がありました。

参加者からは、講演の中でインドネシア日本企業の進出環境を整えるために、賄賂等の慣習の撤廃を目指すとの発言について、実現可能なのかとの質問があり、講演者からは、簡単ではないと思うが、近年は教育も徹底されており、また摘発やメディアでの批判も強くなりつつあり、不可能ではないと考えていると回答されました。また、今回の機会を今後につなげるためのプラットフォーム作りや、今治市主催のバリシップへのインドネシア側出展等、継続的なプログラムを推進すべきだとの提案がありました。

愛媛・インドネシア友好協会の仁科 弘重副会長による閉会の挨拶では、協会の概略および、会員企業である愛媛トヨタ自動車（株）による緊急車両の贈呈等これまでのインドネシアとの交流実績について説明し、本セミナーが今後も愛媛とインドネシアとの交流を発展させる機会になることを願っていると述べました。

セミナー後も、講演者と参加者の間で活発な意見交換や名刺交換が行われ、愛媛でもインドネシアへのビジネス展開に関心を持つ人や企業が増えていることを窺わせました。



▲エディ クルニアワン ログラム会頭



▲愛媛・インドネシア友好協会
仁科 弘重副会長による閉会の挨拶



▲質疑応答



▲名刺交換の様子

インドネシア文化祭 2017 を開催しました【平成 29 年 8 月 19 日（土）】

平成 29 年 8 月 19 日（土）、在日インドネシア留学生協会（略称 P P I）愛媛支部が主催する「インドネシア文化祭 2017」が愛媛大学城北キャンパスにて開催され、多くの来場者にインドネシアの文化を紹介しました。

昨年に続き、インドネシアと愛媛の交流推進を目的として、インドネシア独立記念日に合わせて開催された「インドネシア文化祭」では、インドネシア国旗色の赤と白をテーマに飾り付けられた華やかな会場に、猛暑にもかかわらず、学内外から多くの来場者が訪れ、休日のキャンパスにひとしきり活気が溢れました。

文化祭の目玉のひとつとなっている料理ブース前には、定番のミーゴレン（インドネシア風焼きそば）のほか、ここでしか味わえない珍しいインドネシア地方料理を楽しみに来場した参加者らで、販売開始直後から長蛇の列が出来ていました。

大人から子どもまで楽しめるインドネシアの伝統的なゲームが次々と紹介され、インドネシア風綱引き、ムカデ競走や子どもたちが参加した自転車装飾レースが始まると、ひときわ大きな声援が会場全体に沸き起こっていました。

愛媛・インドネシア友好協会は、本文化祭を後援しました。会員の皆様の多数のご来場、ありがとうございました。



▲賑わう料理販売ブース



▲装飾を施した子供自転車



▲伝統ダンス



▲インドネシア風綱引き

インドネシアスポーツ大会 2017 を開催しました【平成 29 年 10 月 29 日 (日)】

平成 29 年 10 月 29 日(日), 愛媛大学体育館で, インドネシアスポーツ大会 (PORMAS-PPI Ehime) 2017 を開催し, 愛媛大学在学のインドネシア人留学生のほか, 県内外からのインドネシア人研修生, 企業関係者ら約 230 人が参加しました。

このイベントは, PPI-Ehime (在日インドネシア留学生協会愛媛支部) が主催するもので, スポーツを通じて, インドネシア人のコミュニティと地域コミュニティとの絆を深めることを目的とし, 2 年ぶり 6 回目の開催となりました。

開会式には, 在大阪インドネシア共和国総領事館から, Wisnu Edi Pratignyo 総領事らがかけつけ, 参加者および来賓全員で準備体操として恒例となったインドネシア流舞踊「ポチョポチョ」をリズムに合わせて踊りました。

競技は, フットサル, バドミントン, 卓球の 3 種目で, 総勢 230 名の参加者が白熱した試合を繰り広げ, 体育館は終始大きな歓声に包まれました。また昼食時には, 留学生らが手作りしたインドネシア料理が販売され, 昼食を囲んで交流の輪が広がりました。

インドネシアのみならず, アジア・アフリカ各国からの留学生も多数参加し, 国際色豊かとなった本大会。激しい試合が終わると笑顔で握手をかわすなど, 言葉や国境を越えて互いの健闘を称え合いました。

弊協会は, 本大会の後援を行いました。台風による悪天候にもかかわらず, ご参加いただきました会員の皆様, どうもありがとうございました。



▲開会式にて

※本大会の記事が愛媛新聞（10/30 日刊）に掲載されました。